

個別施設整理番号		林道台帳索引番号		施設管理者	盛岡市
路線名		林道種類及び区分		橋梁名	
施設の所在地		起点からの距離		建設年度	
供用年数		種別		型式	
道路橋示方書		橋格(設計荷重)		橋下条件	

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)		幅員(車道幅員)	
	施設の構造等	上部工型式	鋼製(使用鋼材)		塗装使用の有無
			支承形式		落橋防止の有無
		橋台工型式		基礎形式	
	橋脚工型式		海岸からの距離	-	
施設の目的利用実態等					
施設の状態等の概要	点検診断日				
	調査結果				
	健全性の診断結果				
	劣化原因				
長寿命化計画の内容	計画期間				
	内容				
	実施予定時期				
	施設の優先度				
	対策費用				
管理方法					

	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年~
対策費用(百万円)										
対策の内容・実施時期										

備考

個別施設整理番号	1	林道台帳索引番号	1602	施設管理者	盛岡市
路線名	御大堂線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	熊沢橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	1.7km	建設年度	1976
供用年数	47	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	19.5m		幅員(車道幅員)	6.0m(5.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和元年7月30日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁: 錆(軽微)、床板: 鉄筋露出、下部工・支承・路面: 健全、地覆: 鉄筋露出				
	健全性の診断結果	I	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和6年度				
	施設の優先度	低	施設の利用状況や状態から優先度は「低」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)	0.4					0.4				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考	

個別施設整理番号	2	林道台帳索引番号	1602	施設管理者	盛岡市
路線名	御大堂線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	第一浅岸橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	4.3km	建設年度	1978
供用年数	45	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	JR山田線

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	12.56m		幅員(車道幅員)	6.0m(5.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純プレテンション方式中空床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-		塗装使用の有無
		支承形式	ゴム支承		落橋防止の有無	無
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年9月1日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁:健全、床版:健全、下部工:健全、支承:健全、防護柵支柱:腐食、舗装:段差				
	健全性の診断結果	I	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和7年度				
	施設の優先度	低	施設の利用状況や状態から優先度は「低」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)		0.4					0.4			
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考	

個別施設整理番号	3	林道台帳索引番号	1602	施設管理者	盛岡市
路線名	御大堂線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	岩倉橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	5.7km	建設年度	1978
供用年数	45	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	25.4m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和元年9月6日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁:腐食、床版・下部工:健全、支承:軽度な腐食、防護柵:根本切断、橋台背面:段差				
	健全性の診断結果	I	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和6年度				
	施設の優先度	低	施設の利用状況や状態から優先度は「低」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)	0.4					0.4				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考										

個別施設整理番号	4	林道台帳索引番号	1602	施設管理者	盛岡市
路線名	御大堂線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	上落合橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	6.1km	建設年度	1977
供用年数	46	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	中津川

施設の概要	施設の規模	橋長(支間長)	20.5m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和元年9月6日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁:軽微な錆、床版:遊離石灰、下部工(橋台・翼壁):CO欠損、支承:腐食、防護柵:根本切断				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	凍害				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和6年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)	0.4					0.4				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考										

個別施設整理番号	5	林道台帳索引番号	1602	施設管理者	盛岡市
路線名	御大堂線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	甲子又沢橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	8.6km	建設年度	1979
供用年数	44	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	甲子又沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.54m		幅員(車道幅員)	6.0m(5.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純H形鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	逆T式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月14日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁:健全、下部工:鉄筋露出、支承:腐食、舗装:段差				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和7年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)		0.4					0.4			
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考	

個別施設整理番号	6	林道台帳索引番号	3606	施設管理者	盛岡市
路線名	菟内沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	菟内沢橋
施設の所在地	繋字菟内沢	起点からの距離	0km	建設年度	1980
供用年数	43	種別	PC橋	型式	コンクリート桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	菟内沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.05m		幅員(車道幅員)	4.1m(3.6)
	施設の構造等	上部工型式	RC充実床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	エラストイト	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域は私有林の森林であり、保育作業等を実施する森林組合等の林業関係者に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年7月11日	前回点検			
	調査結果	床版:ひび割れ・欠損、橋台:漏水・欠損、地覆:欠損				
	健全性の診断結果	I	前回点検			
	劣化原因	凍害による欠損				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和6年度、令和10年度				
	施設の優先度	低	施設の利用状況や状態から優先度は「低」とした。			
	対策費用	定期点検 0.8百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)	0.4				0.4					0.4
対策の内容・実施時期	定期点検				定期点検					定期点検

備考	

個別施設整理番号	7	林道台帳索引番号	4616	施設管理者	盛岡市
路線名	塗沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	塗沢橋
施設の所在地	繫字塗沢	起点からの距離	0.2km	建設年度	1971
供用年数	52	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	湯川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.0m		幅員(車道幅員)	3.7m(3.0)
	施設の構造等	上部工型式	PC充実床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	エラストイト	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域は私有林の森林であり、保育作業等を実施する森林組合等の林業関係者に利用されている。また、繫温泉の源泉があり管理用通路としての機能を有する。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成30年7月11日	前回点検	-		
	調査結果	主桁・床版:健全、橋台:遊離石灰、地覆:欠損				
	健全性の診断結果	I	前回点検	-		
	劣化原因	凍害による欠損				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和6年度、令和10年度				
	施設の優先度	低	施設の利用状況や状態から優先度は「低」とした。			
	対策費用	定期点検 0.8百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)	0.4				0.4					0.4
対策の内容・実施時期	定期点検				定期点検					定期点検

備考	

個別施設整理番号	8	林道台帳索引番号	3607	施設管理者	盛岡市
路線名	宇曾沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	宇曾沢橋
施設の所在地	川目第1地割	起点からの距離	0.1km	建設年度	1970
供用年数	53	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S39	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	築川

施設の概要	施設の規模	橋長(支間長)	32.90m		幅員(車道幅員)	4.3m(3.6)
	施設の構造等	上部工型式	2径間単純H形鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	壁式橋脚(2径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和5年11月27日	前回点検	平成30年7月13日		
	調査結果	主桁:腐食・防食機能の劣化、横桁:腐食、防食機能の劣化、床版:健全 下部工:A1A2橋台欠損・橋脚うき・欠損・洗堀、支承:腐食、排水管:腐食、舗装:凹凸				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化、凍害				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和10年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)					0.4					0.4
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考	

個別施設整理番号	9	林道台帳索引番号	4618	施設管理者	盛岡市
路線名	築場線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	築場橋
施設の所在地	根田茂第4地割	起点からの距離	0.02km	建設年度	1973
供用年数	50	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	根田茂川

施設の概要	施設の規模	橋長(支間長)	26.0m		幅員(車道幅員)	4.4m(3.6)
	施設の構造等	上部工型式	単純H形鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年9月11日	前回点検	平成30年7月12日		
	調査結果	主桁:腐食・防食機能の劣化、横桁:腐食・防食機能の劣化、床版:鉄筋露出・遊離石灰・ひび割れ 下部工:A1ひびわれ・A1鉄筋露出・A1A2欠損、支承:腐食、地覆:欠損、親柱:欠損				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	凍害、経年劣化、雨水浸透				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検、地覆・親柱の打ち換え				
	実施予定時期	令和8～令和10年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円、補修工 0.6百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)			0.3	0.3	0.4					0.4
対策の内容・実施時期			工事	工事	定期点検					定期点検

備考	

個別施設整理番号	10	林道台帳索引番号	3612	施設管理者	盛岡市
路線名	砂山線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	里道橋
施設の所在地	砂子沢第6地割	起点からの距離	0.6km	建設年度	1994
供用年数	29	種別	PC橋	型式	PCプレテン中空床版橋
道路橋示方書	H2	橋格(設計荷重)	TL20	橋下条件	砂子川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	17.0m		幅員(車道幅員)	6.2m(5.0)
	施設の構造等	上部工型式	PCプレテン中空床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年9月5日	前回点検	平成30年7月11日		
	調査結果	主桁:健全、床版:健全、下部工:健全、支承:健全、排水管:土砂詰まり				
	健全性の診断結果	I	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和10年度				
	施設の優先度	低	施設の利用状況や状態から優先度は「低」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)					0.4					0.4
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考

個別施設整理番号	11	林道台帳索引番号	1603	施設管理者	盛岡市
路線名	岩神線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	小山沢橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	7.5km	建設年度	1973
供用年数	50	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	中津川

施設の概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.8m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和元年8月21日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁:腐食、床版:遊離石灰、下部工:胸壁・翼壁断面欠損、支承:腐食、防護柵:根元切断				
	健全性の診断結果	Ⅲ	前回点検	Ⅱ		
	劣化原因	経年劣化, 凍害				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和6年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)	0.4					0.4				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考	
令和3年度: 詳細設計(断面修復工、ひび割れ補修工、隙間充填工)、対策費用1,815千円 令和4年度: 下部工補修実施(断面修復工、ひび割れ補修工、隙間充填工)、対策費用5,631千円	

個別施設整理番号	12	林道台帳索引番号	1603	施設管理者	盛岡市
路線名	岩神線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	焼山口橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	7.6km	建設年度	1973
供用年数	50	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	中津川

施設の概要	施設の規模	橋長(支間長)	20.5m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和元年8月21日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁: 錆、床版: 遊離石灰、下部工: 胸壁損傷、支承: 軽微な腐食、防護柵: 根元切断				
	健全性の診断結果	Ⅱ	前回点検	Ⅱ		
	劣化原因	凍害				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和6年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)	0.4					0.4				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考

個別施設整理番号	13	林道台帳索引番号	1603	施設管理者	盛岡市
路線名	岩神線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	えぞ森橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	9.6km	建設年度	1975
供用年数	48	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	中津川

施設の概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.5m		幅員(車道幅員)	4.9m(4.1)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和元年8月21日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁:腐食、床版:鉄筋露出、橋台:欠損、支承:錆、路面:伸縮装置交換必要、防護柵:損傷 下部工:胸壁ひび割れ				
	健全性の診断結果	Ⅱ	前回点検	Ⅱ		
	劣化原因	かぶり不足によるコンクリート剥落・腐食				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和6年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)	0.4					0.4				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考	

個別施設整理番号	14	林道台帳索引番号	1603	施設管理者	盛岡市
路線名	岩神線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	中折戸橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	9.9km	建設年度	1975
供用年数	48	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	中津川

施設の概要	施設の規模	橋長(支間長)	14.8m		幅員(車道幅員)	5.7m(4.9)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和元年7月29日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁:腐食、床版:鉄筋露出、支承:錆、路面:伸縮装置交換必要、防護柵:損傷 下部工(橋台):ひび割れ小・洗掘				
	健全性の診断結果	Ⅱ	前回点検	Ⅱ		
	劣化原因	経年劣化、洗掘				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和6年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)	0.4					0.4				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考	

個別施設整理番号	15	林道台帳索引番号	1603	施設管理者	盛岡市
路線名	岩神線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	清水橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	11km	建設年度	1975
供用年数	48	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	中津川

施設の概要	施設の規模	橋長(支間長)	15.5m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和元年7月29日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁:健全、床版:健全、支承:健全、路面:再舗装必要、防護柵:損傷 躯体:ひび割れ・洗掘・鉄筋露出				
	健全性の診断結果	Ⅱ	前回点検	I		
	劣化原因	凍害				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和6年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)	0.4					0.4				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考										

個別施設整理番号	16	林道台帳索引番号	1603	施設管理者	盛岡市
路線名	岩神線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	白雲橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	12.3km	建設年度	1977
供用年数	46	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	20.5m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和元年7月29日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁: 錆、床版: 健全、支承: 健全、下部工: 漏水、路面: 橋台背面の舗装段差				
	健全性の診断結果	I	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化、漏水				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和6年度				
	施設の優先度	低	施設の利用状況や状態から優先度は「低」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)	0.4					0.4				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考										

個別施設整理番号	17	林道台帳索引番号	1603	施設管理者	盛岡市
路線名	岩神線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	五淵橋
施設の所在地	新庄字中津川	起点からの距離	12.8km	建設年度	1976
供用年数	47	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t	橋下条件	中津川

施設の概要	施設の規模	橋長(支間長)	19.5m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和元年7月30日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁・横桁: 錆、床版: 健全、支承: 健全、路面: 健全 下部工: A1A2コンクリート欠損、地覆: 鉄筋露出・遊離石灰・コンクリート浮き				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	凍害				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和6年度				
	施設の優先度	低	施設の利用状況や状態から優先度は「低」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)	0.4					0.4				
対策の内容・実施時期	定期点検					定期点検				

備考										

個別施設整理番号	18	林道台帳索引番号	4614	施設管理者	盛岡市
路線名	手代木線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	手代木橋
施設の所在地	砂子沢第2地割	起点からの距離	0.02km	建設年度	1977
供用年数	46	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	砂子沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	19.0m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純H形鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年9月11日	前回点検	平成30年7月12日		
	調査結果	主桁:腐食・防食機能の劣化、横桁:腐食・防食機能の劣化、下部工:洗堀 支承:腐食・防食機能の劣化・欠損、舗装:段差				
	健全性の診断結果	Ⅱ	前回点検	Ⅱ		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和10年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)					0.4					0.4
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考	

個別施設整理番号	19	林道台帳索引番号	4623	施設管理者	盛岡市
路線名	高屋敷線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	高屋敷橋
施設の所在地	根田茂第6地割	起点からの距離	0.01km	建設年度	1980
供用年数	43	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	根田茂川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	22.5m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純活荷重合成H形鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年9月12日	前回点検	平成30年7月12日		
	調査結果	主桁・横桁:腐食・防食機能の劣化、床版:健全、下部工:健全、支承:健全、舗装:凸凹、排水管:錆				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和10年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)					0.4					0.4
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考	

個別施設整理番号	20	林道台帳索引番号	1605	施設管理者	盛岡市
路線名	米内川線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	百目木橋
施設の所在地	上米内字米内沢	起点からの距離	0km	建設年度	1957
供用年数	66	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S31	橋格(設計荷重)	TL-14	橋下条件	米内川

施設の概要	施設の規模	橋長(支間長)	25.47m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	3径間単純非合成H形鋼桁橋(耐候性鋼材)			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	壁式橋脚(3径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月16日	前回点検	平成22年		
	調査結果	主桁・横桁:健全、床版:健全、下部工:健全、支承:健全、水抜きパイプ:漏水				
	健全性の診断結果	I	前回点検	III		
	劣化原因					
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和7年度				
	施設の優先度	低	施設の利用状況や状態から優先度は「低」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)		0.4					0.4			
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考
平成29年度上部工架け替え(対策費用49,710千円)

個別施設整理番号	21	林道台帳索引番号	1605	施設管理者	盛岡市
路線名	米内川線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	米内沢橋
施設の所在地	上米内字米内沢	起点からの距離	0.5km	建設年度	不明
供用年数	不明	種別	コンクリート橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	止沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.05m		幅員(車道幅員)	4.6m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純RC床版桁			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月20日	前回点検	平成22年4月26日		
	調査結果	床版:健全、下部工:ひび割れ、支承:健全、地覆(防護柵基礎):欠損				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	防護柵車両接触 凍害				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検、地覆:断面補修、防護柵:交換				
	実施予定時期	令和7年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円、補修工 0.3百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)		0.7					0.4			
対策の内容・実施時期		工事、点検					定期点検			

備考	

個別施設整理番号	22	林道台帳索引番号	1605	施設管理者	盛岡市
路線名	米内川線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	畑橋
施設の所在地	上米内字畑	起点からの距離	1.7km	建設年度	1957
供用年数	66	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S31	橋格(設計荷重)	TL-14	橋下条件	米内川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	20.15m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	2径間単純非合成H形鋼桁橋(耐候性鋼材)			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	壁式橋脚(2径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月13日	前回点検	平成22年		
	調査結果	主桁・横桁:健全、床版:健全、下部工:健全、支承:健全、地覆:欠損				
	健全性の診断結果	I	前回点検	III		
	劣化原因					
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和7年度				
	施設の優先度	低	施設の利用状況や状態から優先度は「低」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)		0.4					0.4			
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考	
平成27年度上部工架け替え(対策費用45,329千円)	

個別施設整理番号	23	林道台帳索引番号	1605	施設管理者	盛岡市
路線名	米内川線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	長瀬橋
施設の所在地	上米内字畑	起点からの距離	2.7km	建設年度	1978
供用年数	45	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	米内川

施設の概要	施設の規模	橋長(支間長)	25.5m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	令和2年7月16日	前回点検	平成22年4月26日		
	調査結果	主桁・横桁:防食塗膜劣化、床版:健全、下部工:鉄筋露出、支承:防食塗膜劣化、路面:舗装凸凹				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検、下部工断面修復工、舗装打ち替え				
	実施予定時期	令和7年度、令和10年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円、補修工 0.3百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)		0.4			0.3		0.4			
対策の内容・実施時期		定期点検			工事		定期点検			

備考	

個別施設整理番号	24	林道台帳索引番号	1605	施設管理者	盛岡市
路線名	米内川線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	外山橋
施設の所在地	浅岸字鍋倉	起点からの距離	6.8km	建設年度	1957
供用年数	66	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S31	橋格(設計荷重)	TL-14	橋下条件	外山川

施設の概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.85m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	2径間単純非合成H形鋼桁橋(耐候性鋼材)			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	壁式橋脚(2径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年10月13日	前回点検	平成22年		
	調査結果	主桁: 錆、床版: 健全、下部工: 健全、支承: 健全、地覆: 欠損				
	健全性の診断結果	II	前回点検	III		
	劣化原因	主桁: シール材をつたった水による錆 地覆: 車両接触				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和7年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)		0.4					0.4			
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考
平成28年度上部工架け替え(対策費用40,679千円)

個別施設整理番号	25	林道台帳索引番号	1604	施設管理者	盛岡市
路線名	建石線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	小貝沢橋
施設の所在地	新庄字小貝沢	起点からの距離	0.1km	建設年度	1983
供用年数	40	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S55	橋格(設計荷重)	TL-20	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	27.2m		幅員(車道幅員)	6.0m(5.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月14日	前回点検	平成22年4月21日		
	調査結果	主桁:腐食、横桁:健全、床版:ひびわれ、下部工:剥離、支承:腐食、舗装:段差				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和7年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)		0.4					0.4			
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考										

個別施設整理番号	26	林道台帳索引番号	4615	施設管理者	盛岡市
路線名	平六沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	よろこび橋
施設の所在地	新庄字小貝沢	起点からの距離	0.02km	建設年度	1987
供用年数	36	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	S55	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	中津川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	25.3m		幅員(車道幅員)	5.0m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	プレテンション中空床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年9月12日	前回点検	平成30年7月13日		
	調査結果	主桁:健全、床版:健全、下部工:A1翼壁鉄筋露出・A2翼壁コンクリート剥離 支承:健全、舗装:段差				
	健全性の診断結果	II	前回点検	I		
	劣化原因	凍害、漏水、浸透水、経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和10年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)					0.4					0.4
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考	

個別施設整理番号	27	林道台帳索引番号	3615	施設管理者	盛岡市
路線名	岩神2号線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	上大志田橋
施設の所在地	浅岸字大志田川	起点からの距離	2.5km	建設年度	1978
供用年数	45	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	米内川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	9.5m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純プレテンション方式中空床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-		塗装使用の有無
		支承形式	ゴム支承		落橋防止の有無	無
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月20日	前回点検	平成22年4月26日		
	調査結果	主桁・横桁:健全、床版:遊離石灰少量、下部工:軽微な漏水、支承:健全、舗装:段差、地覆:剥離				
	健全性の診断結果	I	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和7年度				
	施設の優先度	低	施設の利用状況や状態から優先度は「低」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)		0.4					0.4			
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考	

個別施設整理番号	28	林道台帳索引番号	4611	施設管理者	盛岡市
路線名	大升沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	大升沢橋
施設の所在地	根田茂第3地割	起点からの距離	0.01km	建設年度	1992
供用年数	31	種別	PC橋	型式	PCプレテン中空床版橋
道路橋示方書	H2	橋格(設計荷重)	TL14	橋下条件	根田茂川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	30.6m		幅員(車道幅員)	5.0m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	PC中空床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台・逆T式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	壁式橋脚(2径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年9月4日	前回点検	平成30年7月11日		
	調査結果	主桁:健全、床版:健全、下部工:不法占用、支承:健全、舗装:土砂堆積、排水管:土砂詰まり				
	健全性の診断結果	I	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和10年度				
	施設の優先度	低	施設の利用状況や状態から優先度は「低」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)					0.4					0.4
対策の内容・実施時期					定期点検					定期点検

備考	
耐震化不要(設計者に確認)	

個別施設整理番号	29	林道台帳索引番号	4621	施設管理者	盛岡市
路線名	上大沢線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	上大沢橋
施設の所在地	手代森2地割	起点からの距離	1.9km	建設年度	1980
供用年数	43	種別	コンクリート橋	型式	RC場所打充実床版橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	大沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	6.0m		幅員(車道幅員)	4.8m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	RC場所打ち充実床版橋			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	エラストイト	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該林道は生活道路としての機能も有しており、地域住民の利用もみられる。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和5年9月4日	前回点検	平成30年7月11日		
	調査結果	床版:鉄筋露出、下部工:健全、支承:健全、地覆:鉄筋露出、舗装:異常				
	健全性の診断結果	Ⅱ	前回点検	Ⅱ		
	劣化原因	被り不足による鉄筋露出、材料劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検、床版断面修復、地覆打ち替え				
	実施予定時期	令和6年度、令和10年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円、補修工 0.3百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)	0.3				0.4					0.4
対策の内容・実施時期	工事				定期点検					定期点検

備考										

個別施設整理番号	30	林道台帳索引番号	1602	施設管理者	盛岡市
路線名	御大堂線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	上軽町沢橋
施設の所在地	藪川	起点からの距離	15.2km	建設年度	1980
供用年数	43	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	軽松沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	18.6m		幅員(車道幅員)	6.0m(5.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純H形鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月17日	前回点検	平成22年4月26日		
	調査結果	主桁・横桁:腐食、床版:健全、下部工:土砂堆積・漏水、支承:腐食、排水管:腐食				
	健全性の診断結果	Ⅱ	前回点検	I		
	劣化原因	経年劣化、漏水				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和7年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)		0.4					0.4			
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考	

個別施設整理番号	31	林道台帳索引番号	1602	施設管理者	盛岡市
路線名	御大堂線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	中軽町沢橋
施設の所在地	藪川	起点からの距離	16.2km	建設年度	1980
供用年数	43	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	軽松沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.58m		幅員(車道幅員)	6.0m(5.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純H形鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月17日	前回点検	平成22年4月26日		
	調査結果	主桁:腐食、横桁:健全、床版:鉄筋露出、下部工:漏水鉄筋露出、支承:腐食、排水管:腐食、舗装:段差				
	健全性の診断結果	Ⅱ	前回点検	Ⅰ		
	劣化原因	経年劣化、漏水				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和7年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)		0.4					0.4			
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考	

個別施設整理番号	32	林道台帳索引番号	1602	施設管理者	盛岡市
路線名	御大堂線	林道種類及び区分	自動車道1級	橋梁名	下軽町沢橋
施設の所在地	藪川	起点からの距離	17.3km	建設年度	1980
供用年数	43	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	不明	橋下条件	軽松沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	13.55m		幅員(車道幅員)	6.0m(5.0)
	施設の構造等	上部工型式	単純H形鋼桁橋			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	金属支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。					
施設の状態等の概要	点検診断日	令和2年7月17日	前回点検	平成22年4月26日		
	調査結果	主桁・横桁:腐食、床版:鉄筋露出、下部工:漏水ひび割れ、支承:腐食、排水管:腐食、舗装:段差				
	健全性の診断結果	Ⅱ	前回点検	Ⅰ		
	劣化原因	経年劣化、漏水				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和7年度				
	施設の優先度	中	施設の利用状況や状態から優先度は「中」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)		0.4					0.4			
対策の内容・実施時期		定期点検					定期点検			

備考										

個別施設整理番号	33	林道台帳索引番号	3610	施設管理者	盛岡市
路線名	砂子沢線(毛無森林道)	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	八木巻橋
施設の所在地	砂子沢第2地割	起点からの距離	1.0km	建設年度	1973
供用年数	50	種別	鋼橋	型式	鋼桁橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	14t(137kN)	橋下条件	砂子沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	16.40m		幅員(車道幅員)	5.0m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	鋼H桁			
			鋼製(使用鋼材)	H形鋼	塗装使用の有無	有
		支承形式	鋼製支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には整備すべき森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該施設を使用して林野巡視を行うなど、国有林野事業実行のために利用している。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成29年9月23日	前回点検	-		
	調査結果	舗装面:土砂堆積				
	健全性の診断結果	I	前回点検	-		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和8年度				
	施設の優先度	低	施設の利用状況や状態から優先度は「低」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)			0.4					0.4		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

個別施設整理番号	34	林道台帳索引番号	3610	施設管理者	盛岡市
路線名	砂子沢線(毛無森林道)	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	円渕橋
施設の所在地	砂子沢第2地割	起点からの距離	2.6km	建設年度	1969
供用年数	54	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	不明	橋格(設計荷重)	14t(137kN)	橋下条件	砂子沢川

施設概要	施設の規模	橋長(支間長)	10.40m		幅員(車道幅員)	5.0m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	PC桁			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には整備すべき森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該施設を使用して林野巡視を行うなど、国有林野事業実行のために利用している。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成29年9月23日	前回点検	-		
	調査結果	舗装面:土砂堆積、欄干:損傷、橋台:コンクリート劣化				
	健全性の診断結果	Ⅲ	前回点検	-		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検、橋台補修				
	実施予定時期	令和7～9年度				
	施設の優先度	高	施設の利用状況や状態から優先度は「高」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円、詳細設計 2.0百万円、補修工事 6.0百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、早期に補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)		0.4	2.0	6.0				0.4		
対策の内容・実施時期		定期点検	詳細設計	工事				定期点検		

備考	

個別施設整理番号	35	林道台帳索引番号	3610	施設管理者	盛岡市
路線名	砂子沢線(毛無森林道)	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	黄綿橋
施設の所在地	砂子沢第2地割	起点からの距離	3.1km	建設年度	1972
供用年数	51	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	S47	橋格(設計荷重)	25t(245kN)	橋下条件	砂子沢川

施設の概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.40m		幅員(車道幅員)	5.0m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	PC桁			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には整備すべき森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該施設を使用して林野巡視を行うなど、国有林野事業実行のために利用している。					
施設の状態等の概要	点検診断日	平成29年9月23日	前回点検	-		
	調査結果	舗装面:土砂堆積、胸壁:エフロレッセンス				
	健全性の診断結果	I	前回点検	-		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和8年度				
	施設の優先度	低	施設の利用状況や状態から優先度は「低」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)			0.4					0.4		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

個別施設整理番号	36	林道台帳索引番号	3618	施設管理者	盛岡市
路線名	岩部山線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	岩部橋
施設の所在地	築川第7地割	起点からの距離	1.5km	建設年度	1987
供用年数	36	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	S55	橋格(設計荷重)	25t(245kN)	橋下条件	内沢川

施設の概要	施設の規模	橋長(支間長)	8.40m		幅員(車道幅員)	5.0m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	PC桁			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には整備すべき森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該施設を使用して林野巡視を行うなど、国有林野事業実行のために利用している。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	平成29年9月21日	前回点検	-		
	調査結果	舗装面:土砂堆積				
	健全性の診断結果	I	前回点検	-		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和8年度				
	施設の優先度	低	施設の利用状況や状態から優先度は「低」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。 また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)			0.4					0.4		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考

個別施設整理番号	37	林道台帳索引番号	3618	施設管理者	盛岡市
路線名	岩部山線	林道種類及び区分	自動車道2級	橋梁名	水上橋
施設の所在地	築川第7地割	起点からの距離	2.5km	建設年度	1987
供用年数	36	種別	PC橋	型式	コンクリート床版橋
道路橋示方書	S55	橋格(設計荷重)	25t(245kN)	橋下条件	内沢川

施設の概要	施設の規模	橋長(支間長)	5.30m		幅員(車道幅員)	5.0m(4.0)
	施設の構造等	上部工型式	PC桁			
			鋼製(使用鋼材)	-	塗装使用の有無	無
		支承形式	ゴム支承	落橋防止の有無	無	
	橋台工型式	重力式橋台		基礎形式	直接基礎	
橋脚工型式	無(1径間)		海岸からの距離	-		
施設の目的利用実態等	当該林道の利用区域には整備すべき森林が多く存在し、林業関係者により頻繁に利用されている。また、当該施設を使用して林野巡視を行うなど、国有林野事業実行のために利用している。					
施設の 状態等 の概要	点検診断日	平成29年9月21日	前回点検	-		
	調査結果	舗装面:土砂堆積				
	健全性の診断結果	I	前回点検	-		
	劣化原因	経年劣化				
長寿命化計画の内容	計画期間	令和6年度～令和10年度				
	内容	定期点検				
	実施予定時期	令和8年度				
	施設の優先度	低	施設の利用状況や状態から優先度は「低」とした。			
	対策費用	定期点検 0.4百万円				
管理方法	長寿命化対策として、5年に1回の定期点検を行い、必要に応じて適宜補修工を行う。また、排水施設の清掃等維持作業を適切に行う。					

	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年
対策費用(百万円)			0.4					0.4		
対策の内容・実施時期			定期点検					定期点検		

備考	

年度
2023